

4 地域別の展開

1 地域区分と振興方策のあり方

ここでは、本市の行政区画を基礎とする6つ^{*}の地域毎に、農業・農村の現状と課題及び地域の振興方策を明らかにします。

なお、「第4章 1強い農業・農村をつくる基本的な施策の展開」で記載した情報受発信、農業者と生活者の交流促進、環境保全型農業の促進、農業の担い手育成、地域資源の保全、集落の生活環境整備等の取り組みは、「食と花の都」の共通課題として全地域共通で取り組むものとし、地域別の展開では、特に地域毎の特徴的な取り組みのみを記載しています。

■農業構想 地域区分図



※ 新潟市行政区画審議会は、本市を8つの行政区に区画する旨を平成17年8月30日に市長に答申しました。これを基に、本構想では2区・3区・4区を1地域として取り扱い、計6地域としております。2区及び3区については、他区に比べ農地が少なく、また地形が、信濃川・阿賀野川・小阿賀野川に囲まれた輪中地域として4区と連担した環境にあることから、このように扱いました。

2 新潟阿賀右岸・豊栄地域 …1区

1) 地域の特性と課題

- ▶ 福島潟や海岸保安林の中の海辺の森、濁川の農業体験施設など交流資源が豊富です。
- ▶ 福島潟自然文化祭や豊栄農業商工まつりを通じて、都市と農村の交流が行われています。
- ▶ 海拔0m以下の農地が存在し、集中豪雨時には湛水被害も発生しやすい条件にあります。また、砂丘畑の農業基盤整備が遅れています。
- ▶ 米を中心に、露地野菜、果樹、施設園芸、花き等、多種多様な作物が栽培される都市近郊型の産地です。海岸砂丘地帯ではスイカ、メロン等の生産が特徴的です。
- ▶ トマトとなすは県下一の出荷量を誇ります。
- ▶ 阿賀野川、新井郷川、福島潟、農業用排水路などの水辺空間や海岸林は、都市の中に豊かな自然環境を創出する空間であり、貴重な生物資源を保存する機能も担っています。
- ▶ 水害に対する防災対策並びに農業用水の確保が、地域の重要な課題でした。また、都市化の進んでいる農村地域においては、用排水路の水質が悪化しています。

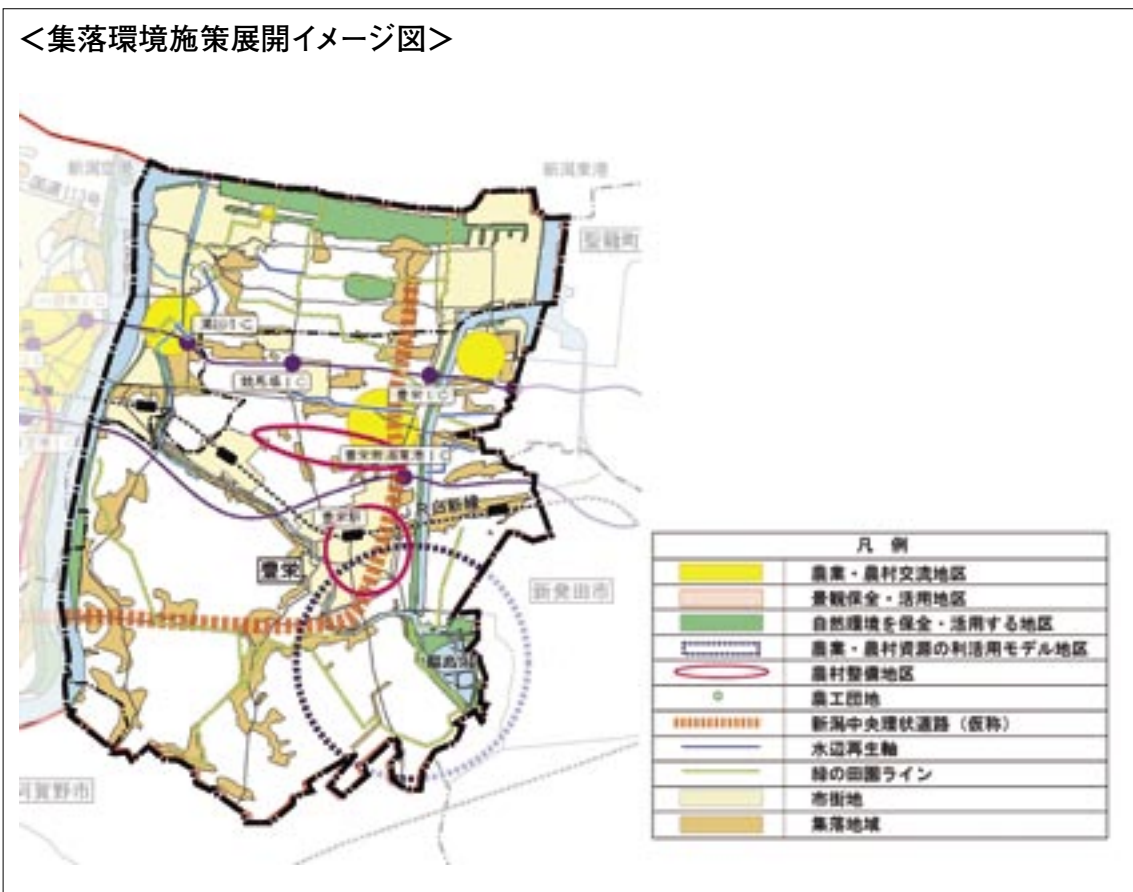
〈農業基礎データ〉

経営耕地面積	4,356ha
農家数/農業就業人口	2,136戸 / 3,339人
主要作物	米、大豆、だいこん、にんじん、ばれいしょ、さといも、たまねぎ、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、レタス、きゅうり、なす、トマト、ピーマン、メロン、すいか、えだまめ、葉たばこ、日本なし、ぶどう、トルコギキョウ・きく・ゆりの切花、アイリス・チューリップの球根、肉用牛、採卵鶏 等

参考資料：経営耕地面積・農家数・農業就業人口…平成17年農林業センサス（概数値）

主要作物の太字：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地

〈集落環境施策展開イメージ図〉



2) 農業・農村の振興方策

■地域の特徴的な取り組み

●産業として魅力のある農業の確立

安心・安全な食料の供給と収益性の高い農業の確立

農用地利用の方針

- ▶ 水田地帯の大区画化による中・大型機械に対応した整備
- ▶ 砂丘畑については、総合的な農業基盤の整備を検討
- ▶ 野菜、球根、切花の生産農家の確保と栽培規模の拡大

農業生産基盤

- ▶ 阿賀野川右岸地区のかんがい排水施設整備の推進
- ▶ 中・大型高性能機械に対応した農道の整備を検討

農業経営

- ▶ 米づくりを基幹としながら、高度かつ集約的な作付け作目体系を組み合わせた複合経営（大豆、野菜、花き等）に誘導
- ▶ 砂丘畑を活用した野菜品目の検討

農業生産

- ▶ 果樹の産地規模の拡大
- ▶ 花きの面積拡大と新品種の研究・導入
- ▶ 葉たばこを基幹作物として安定生産化
- ▶ 畜産の品質と生産性の向上
- ▶ 農産物に付加価値をつけた加工品の開発

集落における営農環境の維持

- ▶ 農業支援センターの活用による指導体制の充実

●地域として魅力のある集落環境の形成

美しく自然あふれる農村の形成

- ▶ はさ木並木による農村原風景の回復
- ▶ 阿賀野川・派川加治川、農業用排水路をはじめとした水辺の多自然化整備
- ▶ 福島潟放水路沿いの緑化の推進
- ▶ 学校ビオトープへの支援

暮らしやすい農村コミュニティの形成

- ▶ 農村生活基盤及び農業生産基盤を水害から守るための、排水施設及び防災体制の整備の促進
- ▶ 農業用排水と家庭排水の分離、公共下水道・農業集落排水施設の整備
- ▶ 豊かな自然環境と調和した農村集落の形成

●田園型政令市の豊かさにぎわいの形成

互恵による都市・農村交流の促進

- ▶ 阿賀野川や福島潟、農業用排水路等の親水化整備とネットワークロードの形成
- ▶ 都市と農村の交流拠点の活用や農業体験ゾーンの設置による消費者との交流づくり
- ▶ 砂丘畑を活用した園芸の里づくり
- ▶ ビュー福島潟、潟来亭周辺の景観を活かした活動の展開

資源循環・環境重視型の地域づくりの推進

- ▶ 堆肥化施設の整備

3 新潟亀田郷・横越・亀田地域 …2・3・4区

1) 地域の特性と課題

- ▶ 「にいがた食の陣」「にいがた花メッセ」「食と花の世界フォーラム」などの食と花のイベントを通じて、都市と農村や生産者と消費者の交流が図られています。
- ▶ 亀田の「三・九の市」は、300年の伝統を持つ定期市です。
- ▶ 水稲単作経営と、米を中心に野菜、果樹、畜産、球根、きのこ等の複合経営を主力とする農業経営が展開されています。果樹では、日本なし、うめの産地であり、近年は、チューリップ、長いもも有名です。また、酪農家の多い地域でもあります。
- ▶ 水田のは場整備率が低い地区も存在します。
- ▶ 豪農伊藤家の邸宅を博物館とした北方文化博物館のほか、サンバイシ神楽や船戸山神楽などの伝統芸能、信濃川・阿賀野川・小阿賀野川、鳥屋野潟などの自然資源があります。
- ▶ 水田、チューリップ畑、自然堤防上の集落と一体となったなし畑、住宅地のうめ畑が美しい農村景観を形成しています。
- ▶ 信濃川・阿賀野川の二大河川に挟まれた最末流地帯で海拔0m以下の農地が存在し、また市街地周辺の住宅開発の進展により生活排水の増加が見られるなど、台風や豪雨の際に水害に弱い側面があります。その他、都市化の進んでいる農村地域においては、用排水路の水質が悪化している所も見られます。

〈農業基礎データ〉

経営耕地面積	4,499ha
農家数/農業就業人口	2,530戸 / 4,256人
主要作目	米, 大豆, だいこん, にんじん, ばれいしょ, さといも, 長いも, たまねぎ, はくさい, 女池菜, キャベツ, ほうれんそう, ねぎ, きゅうり, なす, 十全なす, トマト, スイートコーン, いちご, えだまめ, 日本なし, 西洋なし, うめ, ぶどう, ゆり・キクの切花, アイリス・チューリップの球根, キク, 乳用牛, 豚 等

参考資料：経営耕地面積・農家数・農業就業人口…平成17年農林業センサス（概数値）
 主要作目の太字：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地

〈集落環境施策展開イメージ図〉



2) 農業・農村の振興方策

■地域の特徴的な取り組み

●産業として魅力のある農業の確立

安心・安全な食料の供給と収益性の高い農業の確立

農用地利用の方針

- ▶ 水田地帯の大区画化による中・大型機械化への対応と、かんがい排水事業及び農地防災事業等による汎用化の促進
- ▶ 畑作地帯は、団地化を推進
- ▶ 果樹地帯は、生産農家の確保と栽培面積の拡大および品種更新による産地化、ほ場及び農道の整備への対応
- ▶ 近郊施設園芸地帯の育成

農業生産基盤

- ▶ 親松排水機場など、かんがい排水施設整備の推進
- ▶ 大区画ほ場整備を検討
- ▶ 中・大型高性能機械に対応した農道の整備を検討

農業経営

- ▶ 米づくりを基幹としながら経営規模の拡大と、都市近郊の立地条件を活かした米と大豆・転作野菜、果樹、花き、畜産等の複合経営を推進

農業生産

- ▶ 長いも、キャベツ、スイートコーン、ごぼう、ねぎ、たまねぎ、女池菜、なす、えだまめ、そらまめ、切花等の産地強化、および新品目の導入と産地の形成
- ▶ 広域的ななしの産地形成と「新潟地区なし広域選果施設」の有効利用
- ▶ 「梅の里づくり構想」に基づく適地選定や生産者育成、うめ加工品の開発等の産地づくり
- ▶ チューリップの特産地としての基盤強化
- ▶ 酪農の強化、よごしポーク等のブランド育成

●地域として魅力のある集落環境の形成

美しく自然あふれる農村の形成

- ▶ スプロール的土地利用の排除
- ▶ 屋敷林の保全
- ▶ 信濃川・阿賀野川・小阿賀野川、鳥屋野潟・栗の木川・通船川などの地域の河川の多自然化整備
- ▶ 農業用排水路の多自然化整備
- ▶ 環境用水・浄化用水の導入
- ▶ 沢海地区、山通地区(大江山)の良好な集落景観の保全・活用
- ▶ 亀田郷地域用水対策協議会による水辺環境整備の促進

暮らしやすい農村コミュニティの形成

- ▶ 農村生活基盤及び農業生産基盤を水害から守るための排水施設及び防災体制の整備の促進
- ▶ 農業用排水と家庭排水の分離、公共下水道・農業集落排水施設の整備
- ▶ 豊かな自然環境と調和した農村集落の形成
- ▶ 地域づくり協議会によるコミュニティ活性化の促進

●田園型政令市の豊かさにとぎわいの形成

互恵による都市・農村交流の促進

- ▶ (仮称)食と花のいがた交流センターの整備
- ▶ 亀田郷ネット・(財)亀田郷地域センターを活用した生産者と消費者の交流促進
- ▶ 「三・九の市」などによる農消交流の活性化
- ▶ 信濃川・阿賀野川・小阿賀野川、農業用排水路(緑の田園ライン)等の親水化整備
- ▶ 鳥屋野潟の水質浄化と環境保全の取組みの推進
- ▶ 亀田排水路洪水調整池周辺の親水化整備など、緑の田園ラインに接続する田園観察型公園の整備
- ▶ 小阿賀野川沿いを果樹観光の拠点として活用

資源循環・環境重視型の地域づくりの推進

- ▶ 堆肥化施設の検討
- ▶ バイオマス資源の利活用推進

4 新津・小須戸地域 …5区

1) 地域の特性と課題

- ▶ 全国的にも有数の「花のまち」です。
- ▶ 「日本ボケ展」「植木盆栽まつり」「さつきまつり」「雪割草の展示会」「寒梅まつり」など、花のイベントで多数の買物客や見物客が集まります。
- ▶ 長い伝統を誇る植木、盆栽の園芸業が盛んな地で、特に、ボケ（放春花）の育種では全国的に有名な産地です。
- ▶ 水田のほ場整備状況は、本市の中では高い状況にあります。
- ▶ 新潟薬科大学を核とした産・学・官の連携による研究交流拠点の整備が求められています。
- ▶ 小須戸には、昔の水陸交通の拠点の名残を今に伝える町屋造の家屋や雁木が、新津には、石油、鉄道の遺産が残されています。また、農村地域には獅子踊りなどの伝統芸能が継承されてきました。
- ▶ 阿賀野川・信濃川・小阿賀野川・新津川・能代川、丘陵沿いの池沼、新津丘陵の里山等の、動植物の貴重な生息空間が点在しています。
- ▶ 平野に点在する集落、満願寺のハサ木並木、信濃川堤防沿いの桜並木、里山の自然と調和した農村景観、菩提寺山等の山々の自然風景等、多くの美しい景観を有しています。
- ▶ 都市排水の農業水利施設への流入増加により、水利施設への負担が増大しています。

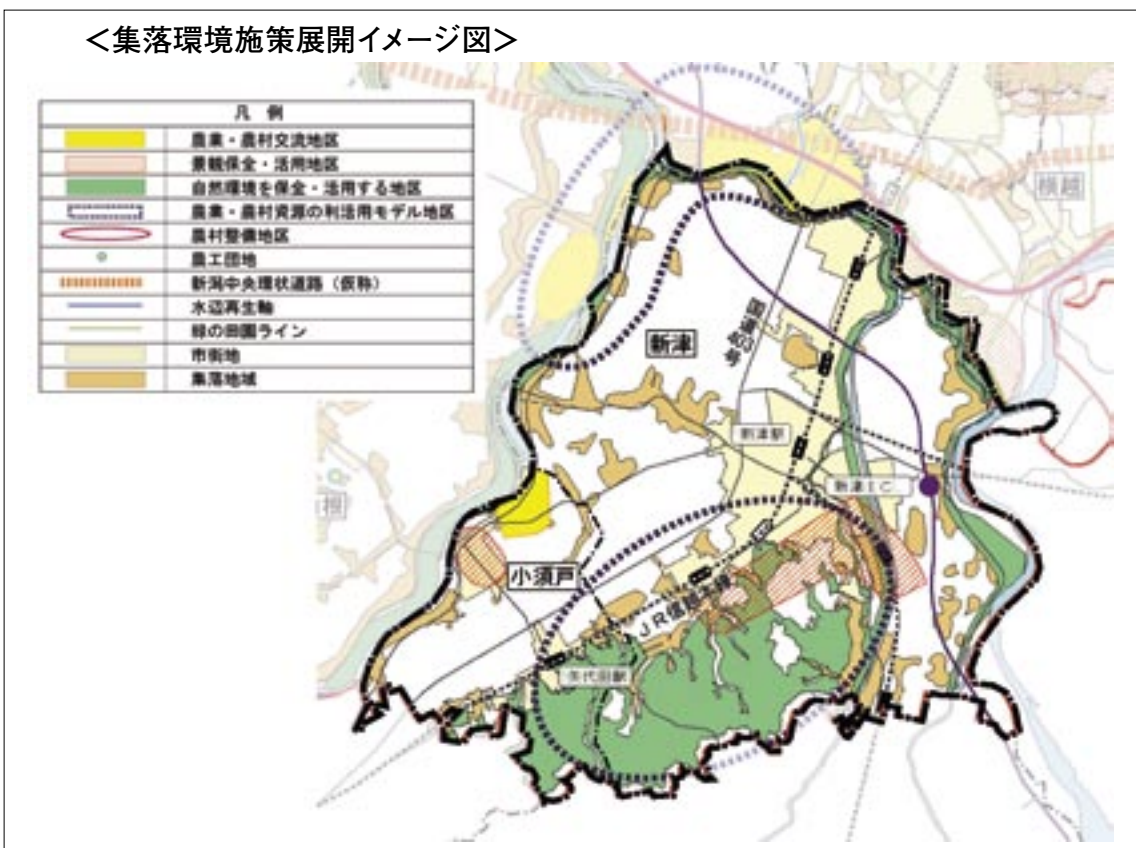
〈農業基礎データ〉

経営耕地面積	3,443ha
農家数/農業就業人口	1,896戸 / 2,854人
主要作物	米、六条大麦、大豆、ばれいしょ、さといも、たまねぎ、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、モロヘイヤ、きゅうり、なす、トマト、いちご、えだまめ、日本なし、かき、もも、ぶどう、チューリップ・ゆり等の切花、チューリップ球根、サツキ・アザレア・シャクナゲ・ボケ・ツバキ・ポタン・ユキワリソウ等の鉢花、寒梅・ボケ等の花木、乳用牛、肉用牛、豚 等

参考資料：経営耕地面積・農家数・農業就業人口…平成17年農林業センサス（概数値）

主要作物の太字：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地

〈集落環境施策展開イメージ図〉



2) 農業・農村の振興方策

■地域の特徴的な取り組み

●産業として魅力のある農業の確立

安心・安全な食料の供給と収益性の高い農業の確立

農用地利用の方針

- ▶ 優良農地の確保・保全と効率的な土地利用の推進による、農業生産性の向上

農業生産基盤

- ▶ 湛水防除事業等による排水施設整備の推進
- ▶ ほ場整備及び農道整備の推進
- ▶ パイプかんがい、暗渠排水等の整備
- ▶ 既存の水利施設の適正な管理、更新

農業経営

- ▶ 売れる米づくり体制の強化と複合営農の強化
- ▶ 集落認定生産組織等の生産組織を配し、規模拡大、多角化、法人化等の育成の推進

農業生産

- ▶ 大豆の本作化
- ▶ えだまめ、プチヴェール、サクランボ、いちじく等の産地形成と生産拡大
- ▶ 花きなど高収益作目の振興及び多様な新産地育成
- ▶ 少量多品目の野菜などの多様な販売促進

研究

- ▶ 新潟バイオリサーチパーク構想の推進
- ▶ 作物の持つ保健的機能成分の研究

●地域として魅力のある集落環境の形成

美しく自然あふれる農村の形成

- ▶ 花木産業、ハサ木のある田園風景、桜並木の活用等、花とみどりの景観創造
- ▶ 町屋造の歴史ある町並みの保全
- ▶ 信濃川・阿賀野川・新津川・能代川等の自然環境の教育利用
- ▶ 新津丘陵の保護や民間ボランティアを活用した管理システムの構築
- ▶ 小阿賀野川沿い、新津丘陵周辺地区、小須戸の町屋造等の良好な集落・町並み景観の保全・活用

暮らしやすい農村コミュニティの形成

- ▶ 農業用排水と家庭排水の分離、公共下水道・農業集落排水施設の整備
- ▶ ゆとりある農村集落の形成

●田園型政令市の豊かさとにぎわいの形成

互恵による都市・農村交流の促進

- ▶ 露店一六市場の観光活用
- ▶ 「道の駅・花夢里にいつ」による花き・花木の情報発信
- ▶ 「花とみどりのシンボルゾーン」を中心とした都市・農村交流の推進
- ▶ 信濃川・阿賀野川・新津川・能代川等の親水化整備
- ▶ 新津丘陵をはじめとする地域資源を活かしたグリーン・ツーリズムの推進
- ▶ 花とみどりを巡る自転車道構想の検討

資源循環・環境重視型の地域づくりの推進

- ▶ 生態系に配慮した高生産性ほ場整備の検討

5 白根・味方・月潟地域 …6区

1) 地域の特性と課題

- ▶ 観光果樹園が多く、観光資源となっています。また、フルーツの直売所は市内でも充実しています。
- ▶ 白根味方大凧合戦、旧笹川家住宅のほかにも、四季折々の田園風景や各地区の祭り、伝統芸能などが残されており、都市・農村交流の資源としての活用が望まれています。
- ▶ 伝統芸能である角兵衛獅子発祥の地として全国的にも知られ、毎年、6月の月潟祭りや秋分の日などの観光キャンペーンにおいて角兵衛獅子の舞が披露されます。
- ▶ 白根、味方の水田のは場整備状況は、本市の中では高い状況にあります。一方、月潟の整備率は最も低い状況にあります。一部には、海拔0m以下の農地が存在し、集中豪雨により水害を起こすこともあります。
- ▶ 稲作を基幹に、果樹、野菜、球根、切花、花木等の園芸作物の栽培が盛んです。
- ▶ 特に白根は、本市における果樹生産の拠点地域となっており、なし、もも、ぶどうについては県内の生産地であり、チューリップ切花も県内の生産地となっています。月潟も、古くからなしの栽培が盛んです。
- ▶ 果樹園が多数点在し、ももやなし、チューリップなどの花々が、彩りある景観を創出しています。
- ▶ 農業用等の越後月潟手打鎌の製造や、伝統的な小正月飾り「マユ玉」が生産されています。

〈農業基礎データ〉

経営耕地面積	5,611ha
農家数/農業就業人口	2,391戸 / 4,313人
主要作物	米、六条大麦、大豆、だいこん、ばれいしょ、さといも、たまねぎ、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、レタス、きゅうり、なす、トマト、いちご、メロン、えだまめ、食用菊、おおば、きのこ、りんご、日本なし、西洋なし、もも、ぶどう、チューリップ・ゆりの切花、アザレア・シャクナゲの花木、乳用牛、豚 等

参考資料：経営耕地面積・農家数・農業就業人口…平成17年農林業センサス（概数値）
 主要作物の太字：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地

〈集落環境施策展開イメージ図〉



2) 農業・農村の振興方策

■地域の特徴的な取り組み

●産業として魅力のある農業の確立

安心・安全な食料の供給と収益性の高い農業の確立	農用地利用の方針 <ul style="list-style-type: none"> ▶ ほ場整備未実施区域の土地利用区分を明確にした土地基盤整備の推進 ▶ 経営体への農地の集積や農地の集団化を推進 農業生産基盤 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 防災と農作物の湛水被害を未然に防止するための、白根排水機場など白根郷の排水能力の強化 ▶ 信濃川下流地区等の農道整備の推進 ▶ 用水の高度利用と大区画ほ場整備の検討 農業経営 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 米づくりを基幹としながら、大豆の本作化、果樹、花きの産地化 ▶ 高品質・安心安全な農産物の生産振興と農業所得の増大を目指す、しろね農業振興公社事業の展開 農業生産 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 果樹生産の拠点地域としての農産物のブランド化 ▶ 水田を活用したえだまめの産地化 ▶ チューリップ、ゆりなどのブランド品目の作付け拡大 ▶ 酪農の計画的安定生産の促進と養豚の高品質化・生産拡大等による銘柄化 ▶ カントリーエレベーターの整備 国際交流 <ul style="list-style-type: none"> ▶ (仮称) 国際農業研究センターの整備 研究 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 農業技術の支援
-------------------------	--

●地域として魅力のある集落環境の形成

美しく自然あふれる農村の形成	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 道路沿いの生垣や景観作物の普及 ▶ 中ノ口川や用排水路の自然環境整備 ▶ 集落道沿いの緑地空間の保全 ▶ 民間団体との協働による環境保全
暮らしやすい農村コミュニティの形成	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 凧合戦、西白根神楽舞、味方穀倉太鼓等の伝統的な祭りや行事、民俗芸能の継承・発展 ▶ 農村生活基盤及び農業生産基盤を水害から守るための、排水施設及び防災体制の整備の促進 ▶ 農業用排水と家庭排水の分離、公共下水道・農業集落排水施設の整備

●田園型政令市の豊かさにぎわいの形成

互恵による都市・農村交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ (仮称) アグリパークの整備 ▶ 信濃川や中ノ口川等の親水化整備 ▶ 通年観光園、親水公園、市民農園、農業体験農園、農産物加工研修施設の開設 ▶ 食農学習、体験ツアー、「オーナー農園」制度等による都市との交流促進 ▶ 農村環境改善センターを活用した各種イベントの開催
資源循環・環境重視型の地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 特別栽培農産物認証制度の普及 ▶ 資源循環センター、堆肥化施設の建設

6 新潟西地域 …7区

1) 地域の特性と課題

- ▶ 日本海の夕日や信濃川、佐潟などの豊富な観光資源に恵まれています。
- ▶ 海拔0m以下の農地が存在し、台風や豪雨による農地の湛水被害が発生しやすい条件にあります。
- ▶ 新川河口排水機場など、基幹的水利施設の老朽化が進んでいます。
- ▶ 米を中心に野菜、花き、果実、球根等が生産され、海岸砂丘地帯では、葉たばこ、スイカ、だいこん、ねぎ等が生産されています。「くろさき茶豆」は全国的にも有名で、「えだまめの王様」と呼ばれています。
- ▶ 信濃川・西川・新川、佐潟・御手洗潟・ドンチ池、農業用排水路などの水辺空間や海岸防風林は、都市の中に豊かな自然環境を創出する空間であり、貴重な生物資源を保存する機能も担っています。
- ▶ 西川と水田の広がりや、砂丘の畑地と防風・防砂のクロマツ林などの、農業生産地の風景が見られます。また、赤塚の屋敷林などの集落景観も残されています。
- ▶ 都市化の進んでいる農村地域においては、用排水路の水質が悪化しています。

〈農業基礎データ〉

経営耕地面積	3,985ha
農家数/農業就業人口	1,563戸 / 3,071人
主要作目	米, 大豆, だいこん, ばれいしょ, キャベツ, ねぎ, スイカ, えだまめ, 葉たばこ, ゆりの切花, アイリスの球根, チューリップの球根, 豚 等

参考資料：経営耕地面積・農家数・農業就業人口…平成17年農林業センサス（概数値）

主要作目の太字：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地

〈集落環境施策展開イメージ図〉



2) 農業・農村の振興方策

■地域の特徴的な取り組み

●産業として魅力のある農業の確立

安心・安全な食料の供給と収益性の高い農業の確立

農用地利用の方針

- ▶ 水田は、かんがい排水事業及び農地防災事業等による汎用化促進
- ▶ 砂丘畑地帯での中・大型機械化農業の推進のため、農道整備への対応
- ▶ 野菜、球根、切花の生産農家の確保と栽培規模の拡大

農業生産基盤

- ▶ 新川河口排水機場など、用排水施設整備の推進
- ▶ 水田の汎用化や土づくり、水利用状況を踏まえた畑地化の推進

農業経営

- ▶ 米と園芸作物を組み合わせた複合経営の推進

農業生産

- ▶ 米の品質向上と安定化（一等米比率の高位化）
- ▶ 花きの銘産品化への取り組み
- ▶ 葉たばこの機械化の推進などによる効率化

研究

- ▶ 新潟大学との共同研究の推進

●地域として魅力のある集落環境の形成

美しく自然あふれる農村の形成

- ▶ 砂丘地の景観や屋敷林、防風林の保全
- ▶ 信濃川・西川、佐潟、農業用排水路をはじめとした水辺の多自然化整備
- ▶ 西川と既存樹木による豊かな田園景観の保全
- ▶ 木場地区、西川沿い（中野小屋地区）の良好な集落景観の保全・活用

暮らしやすい農村コミュニティの形成

- ▶ 農村生活基盤及び農業生産基盤を水害から守るための、排水施設及び防災体制の整備の促進
- ▶ 農業用排水と家庭排水の分離、公共下水道・農業集落排水施設の整備

●田園型政令市の豊かさにぎわいの形成

互恵による都市・農村交流の促進

- ▶ 信濃川・西川、佐潟、農業用排水路（緑の田園ライン）等の親水化整備
- ▶ ラムサール条約登録湿地の佐潟周辺の環境保全の推進

7 岩室・西川・瀧東・中之口・巻地域 …8区

1) 地域の特性と課題

- ▶ 佐渡弥彦米山国定公園、ハザ並木、澤将監の館、岩室温泉、民間によるワイン工場、地ビールパブがあるなど観光資源が本市において特に豊富な地区です。
- ▶ 新日本街路樹百景に選ばれた「門田のハザ並木」は、多くの人々が訪れる地域であり、来訪者とのふれあいを心がけ、ボランティアガイドを地区民が勤めています。
- ▶ 水田のほ場整備率は低く、一部、海拔0m以下の農地が存在します。
- ▶ 米を基軸としながら、果樹や野菜、畜産を取り入れた複合営農も取り組まれています。
- ▶ 畜産の農業産出額が本市の中でも多く、畜産業の拠点地域となっています。
- ▶ 佐渡弥彦米山国定公園の緑の山並みを背景として、水田を基調にハザ並木が残る景観は、本市を代表する農村景観となっています。
- ▶ 中小河川はホタルなど身近な生物及び希少生物の生息空間となっており、その貴重な自然資源の保護が図られています。
- ▶ 地域の一部では、家庭からの生活雑排水が農業用排水路へ排出されているため、環境悪化や農業用水の水質悪化等の問題を引き起こしています。

〈農業基礎データ〉

経営耕地面積	7,616ha
農家数/農業就業人口	3,336戸 / 4,904人
主要作物	米、そば、大豆、だいこん、にんじん、ごぼう、ばれいしょ、さといも、長いも、たまねぎ、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、ねぎ、みつば、カリフラワー、きゅうり、なす、トマト、ししとうがらし、いちご、メロン、スイカ、そらまめ、えだまめ、食用菊、葉たばこ、日本なし、西洋なし、かき、もも、ぶどう、いちじく、チューリップ・ゆりの切花、ユキワリソウ・らんの鉢物、乳用牛、肉用牛、豚 等

参考資料：経営耕地面積・農家数・農業就業人口…平成17年農林業センサス（概数値）

主要作物の太字：流通市場（卸売市場）で認知されているもの及び県の認定産地・特約産地

〈集落環境施策展開イメージ図〉



2) 農業・農村の振興方策

■地域の特徴的な取り組み

●産業として魅力のある農業の確立

安心・安全な食料の供給と収益性の高い農業の確立

農用地利用の方針

- ▶ 水田は、基盤整備を推進するとともに、環境保全型農業を目指した土地利用及び施設整備、汎用化促進
- ▶ 海岸砂丘地帯の集団優良農地の確保等による畑作の振興
- ▶ 良品質果樹地帯の振興

農業生産基盤

- ▶ 西蒲原地域の用水の必要水量の確保とかんがい施設整備の推進
- ▶ 竹野町・羽黒・並岡・曾根・番屋地区等のほ場整備の推進
- ▶ 西・並岡・漆山・中郷屋地区等の農道整備の推進

農業経営

- ▶ 米づくりを基幹としながら、野菜、果樹、畜産との複合経営の充実
- ▶ 砂丘地園芸（スイカ、メロン、だいこん、ねぎ、花き等）の産地のイメージアップ、流通販売面の強化

農業生産

- ▶ そらまめ、えだまめ、カリフラワー、ししとうがらし、食用菊、さといも、いちごの生産農家の確保・生産拡大とブランド化
- ▶ かきのブランドの開発
- ▶ いちじくを地域特産物・ブランド品として育成
- ▶ チューリップ・ゆり等の優良球根の確保による切花品質の向上
- ▶ 畜産の経営安定化と環境対策や高品質化、ブランド販売の展開

●地域として魅力のある集落環境の形成

美しく自然あふれる農村の形成

- ▶ 海岸部の景観整備、角田山麓や里山の景観に調和した生活基盤の整備
- ▶ ハザ並木、桜並木の充実整備、集落内樹木、屋敷林、鎮守の森、史跡等の歴史・文化資源の保全・調査
- ▶ 多自然型工法による農村集落環境の形成
- ▶ 休耕田のビオトープ化や地域用水の復活・活用等による生物の生息環境の保全
- ▶ 中ノ口川沿い、岩室地区の良好な集落景観の保全・活用

暮らしやすい農村コミュニティの形成

- ▶ 農村生活基盤及び農業生産基盤を水害から守るための、排水施設及び防災体制の整備の促進
- ▶ 農業用排水と家庭排水の分離、公共下水道・農業集落排水施設の整備

●田園型政令市の豊かさとにぎわいの形成

互恵による都市・農村交流の促進

- ▶ 岩室温泉を利用した観光複合施設の整備（観光朝市の開催施設、直売所・直食所施設、観光農園 等）
- ▶ サルビアパークの整備（潟東）
- ▶ ハザ並木やハウスぶどうと田園風景の組み合わせによるふれあい農園（農業体験公園）の整備（中之口）
- ▶ 海岸砂丘地での市民農園等の開設（巻）
- ▶ 中ノ口川等の親水化整備
- ▶ 旧街道沿いの町並みや景観に配慮した地域交流拠点の形成
- ▶ 果樹の里づくりの推進
- ▶ ボランティアガイドの組織化
- ▶ 農作業体験ツアーの実施
- ▶ 花と緑のふれあいフラワーロード構想の検討
- ▶ 森林コミュニケーション広場の整備検討

資源循環・環境重視型の地域づくりの推進

- ▶ 堆肥化施設の整備

